

審 議 結 果

会 議 名	令和5年度 第2回 川口市立科学館運営審議会
開 催 日 時	令和6年2月 1日 (木) 午前10時00分から12時15分まで
開 催 場 所	SKIPシティ 1F 多目的室 (所在地: 川口市上青木3-12-18 (SKIPシティ内))
出 席 者	・ 渡邊会長・郡副会長・星野委員・小松委員・高橋委員・朝倉委員 ・ 功刀委員・吉岡委員・永瀬委員・金子委員・鈴木委員 (事務局) ・ 濱田教育総務部長・藤田館長・荒井主幹・針谷副館長・中田副主幹 ・ 廣戸副主幹・山田主査・鈴木主査
議 題	(1) 令和5年度事業経過について (2) 令和6年度事業予定について (3) 展示装置について (4) その他(空調設備更新に伴う休館日) ※ 議事終了後 施設見学(展示装置・特別展示及び天文台)
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 川口市立科学館運営審議会委員名簿 資料No.2 令和5年度入館者数及び使用料について 資料No.3 令和5年度事業の実施状況 資料No.4 令和6年度事業計画について 資料No.5 科学展示装置について 資料No.6 空調設備更新に伴う休館日について 机上配布資料 ・ 特別展展示解説・2月館報・天文講演会チラシ ・ 全国科学博物館特集冊子「博物館の周年事業」
審 議 経 過	別紙とし添付する。
そ の 他	

審 議 経 過 (議事録)

1、開会 (9 : 57)

(1) 事務局説明

- ① 委員 11名全員出席していることから、川口市立科学館運営審議会条例第7条第2項の規定により本審議会が成立している旨、事務局より報告。
- ② 審議会公開のため、傍聴人を募集したところ申込者がいなかった旨、事務局より報告。
- ③ 事務局より配布資料の確認。

(2) 協議事項及び挨拶

① 議事録署名人の選任

議事録署名人の選任について事務局より説明。

議事録署名人を慣例により名簿順とし、今回は小松委員と朝倉委員が選出、承認された。

② 渡邊会長挨拶

2、議題

(議事進行：川口市立科学館運営審議会条例第7条第1項の規定により議長(会長)の進行とする。)

(1) 令和5年度事業経過について

○議長

議題(1)令和5年度事業経過について事務局の説明を求める。

○事務局

資料2～資料3に基づき事務局から説明。

以上議題(1)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下質問と回答がなされた。

○委員

入館者数や使用料が気になるが、20周年ということやコロナが5類に移行したことにより、コロナ禍前、それ以上になってきているという状況であるか。特に気になる事は何かあるか。

○事務局

入館者数・使用料はコロナ禍前に戻りつつある。展示室は年2回の特別展をしっかりと計画的に実施し、天文台では時期を捉えて観測会を実施、プラネタリウムでもプロポーザル方式で人

気のある番組を選定している。学習利用についても市内小中学校はもちろんだが、市外の学校から選んでいただいているということも、要因のひとつと捉えている。

また、本日お配りした資料のなかに「全国科学博物館協議会」の冊子があるが、協議会からお声がけいただき、本館の職員が執筆した内容が掲載されている。こういったところでのPRの効果も大きなところではないかと思う。

(2) 令和6年度事業予定について

○議長

議題(2) 令和6年度事業予定について事務局の説明を求める。

○事務局

資料4に基づき事務局から説明。

以上議題(2)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下質問と回答がなされた。

○委員

令和6年度事業予定は例年と変わったところはあるか。

○事務局

資料の事業については、例年実施し好評を得ている定期事業である。また時期を捉えての天文観測や特別展の内容に沿ったサイエンスショーなどは、今後計画していく予定である。

○委員

令和6年度 6月～7月上半期特別展はどのような構想となっているのか。

○事務局

令和6年度上半期は、現在のところスポーツをテーマとした特別展を開催する予定である。来年度はオリンピックイヤーにもなり、科学的視点でスポーツを捉えることにより、オリンピックも含め、よりスポーツを楽しむ契機となればと考えている。スポーツの科学のほかオリンピックに関しても企画展として同時に進められればと検討している。スポーツをもともと好きな子がより科学的な視点で楽しむとともに、スポーツが苦手な子が科学館に来て知ること、スポーツへの動機付けに触れるという部分を目指して準備を進めているところである。現在大手スポーツ用品メーカーにも協力を仰いでいる状況である。

○委員

学校としては科学館の自由研究コーナーに期待するものがある。科学館と上手に連携ができるとか、あるいは自由研究ということで、子ども達自身が問題解決に向き合えるきっかけづくりになればいいという視点で考えており、令和6年度実施予定の夏休み自由研究コーナーではどのようなコンセプトで実施するのか、イメージがあれば教えていただきたい。

○事務局

夏休み自由研究コーナーの目的として、研究の進め方に特化しているコーナーとなっており、掲示物は9月の科学展で発表された最優秀賞作品を掲示し、自由研究を進めるにあたっての参考となるように掲示している。進め方としては、当館に小学生向け、中学生向けの自由研究の進め方の手引きを自由に持っていけるように設置し、それを元にアイデアを見つけて研究を進められるようにしている。またこのコーナーとは別に7月下旬から8月上旬にかけて10日間科学館職員や市内教職員にもご協力いただき、夏休み科学教室という講座を開講している。ここではものづくりを教え、制作しているが、それを夏休みの課題として提出するのではなく、制作物を元に自分でアイデアを研究してみよう、新しいものをさらにここから作ってみようという内容の講座となっている。この2本立てで夏休みの自由研究をはじめ、理科教育の支援として毎回実施している。また7月下旬には、市内の理科教員に集まっていただき、授業力向上や、科学館の持つアイデアを共有する場も設け、微力ながら、先生や子ども達の力なれるようにやらせていただいている。

コロナ禍以前では夏休み自由研究の相談コーナーをやっていたこともあり、来年度についても何か子ども達にできるかを考えていきたい。

○議長

博学連携は科学館や学校現場にとっても重要なところかと思う。話を聞く限りでは、先生方と連携をとって協力しているが、コロナ禍以前に戻り切れてない部分もあるかと思う。来年度はもう少し密にできるような方策も考えて協力体制ができればいいのではないかと思う。

○委員

科学館から学校の方へ訪問していただく事業があるが、科学館を利用して理科の授業を行うことは、コロナの影響もあり、まだ普及していない。理科教員資質向上と理科の授業の負担軽減というところで、科学館職員と協力して授業を展開していきたいと考えている。今年度はどれくらい活用があったのか教えていただき、もし増えていないのであれば学校現場にこのような連携について校長会などを活用し、周知する取り組みをしたいと考えている。現在この活用は減っているのか、それとも増えているのか。

○事務局

利用数については、昨年度と同じ程度の数値である。30件程度の申し込みである。

通常4年生から高学年の申請が多かったのが、今年度については2年生・3年生（2年生の生活科では、「身近なものを使った工作～遊んで試して工夫して～」、3年生の理科では「おもちゃショーを開こう」）の単元があり、どうしても小学校の先生の所でアイデアを上手に伝えられなかったり、子どもの発想がもてなかったりで、科学館の利用があったという認識である。

4月には市内校長先生あてに科学館の利用について説明をしているが、先生方から依頼があった場合は楽しませるショーも可能であること、また授業も科学館でさせていただくこと、さらに事業の内容を渡すことも可能であることを伝え、学校のニーズに合わせて話を聞き、柔軟に対応できるように協力させていただいている。

8月のサマースクールでは10校程度ではあるが、科学館職員が出向いてサイエンスショーやものづくり指導などを行っている。全体的には中学校の利用もあるが、小学校の利用の方が多い状況である。

(3) 展示装置について

○議長

議題（3）展示装置について事務局の説明を求める。

○事務局

資料5に基づき事務局から説明。

以上議題（3）について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下質問と回答がなされた。

○委員

14機種の装置改修が必要で次年度は8機種行うとのことだが、その次の年度では残り6機種についての予算は確約されているのか。

○事務局

予算確保については毎年度となり、獲得に努力していく。

○委員

次年度の8機種は優先度の高い機種ということか。

○事務局

その通りである。

(4) その他について（空調設備更新に伴う休館日）

○議長

議題（4）その他について事務局の説明を求める。

○事務局

資料6に基づき事務局から説明。

以上議題（4）について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに質問はなかった。

○議長

ほかに意見、質問はあるか。（「なし」）

○議長

なしとのことなので、これで議長の任を降り、進行を事務局に戻す。

○事務局

今回の議題は終了する。次回の運営審議会は来年度の7月を検討している。

3、天文現象に関する講話（10：50～11：30）

国立天文台名誉教授 渡邊鉄哉 様

4、閉会（11：35） 郡副会長挨拶

5、展示室視察（11：45～11：55）

天文台視察（12：00～12：15）

6、終了